

掬水

きくすい

題字・佐藤重義

第 46 号

令和3年7月31日発行

〈事務局〉

秋田市手形学園町1-1

秋田大学教育文化学部

同窓会旭水會 内



「他山の石」について考える

秋田市退職校長会 会長 高橋 一郎

コロナ禍の影響で十分な審議を経ないまま、二年目に入りました。静かな事業展開に流されてしまいうように、果たしてこのままでよいのかと考えてしまいます。皆様どのようにお過ごしでしょうか。

今、我々はコロナ禍の中で、たいへん不自由な暮らしをしています。改めて、何が不自由なのかを自分自身に問い直してみました。そうすると、仲間と当たり前に営んできた、語らい、笑い、食べ、飲み、喜び、悲しみ、怒りなどの交流がないのです。日常的に育くんできた人間として必要なの人間らしい文化の展開が制限されていることの不自由さを感じてしまうのです。

振り返って、我々の退職校長会の活動に置き換えて考えてみたとき、書面のやり取りでは活動が展開されているものの、全く温かみのない空虚ささえ感じられてなりません。やはり、一堂に会し、みんなで、そして、個々にも楽しく話し合うなどの血の通った活動が人間らしくて良いように思います。

組織のことを考えたとき、潟上・南秋の件がやはり大きいと思います。報酬をいただいて、与えられた役割を果たしてきた現役のころとは異なり、我々が所属している退職校長会という組織は強制的に展開されるものではありません。会費制で運営されており、しかも指導的な役割を担っている役員は、その活動のほとんどがボランティアです。会則にあるように歴史的に確認しあってきた確かな役割があるとはいえ、たいへん失礼な言

い方になってしまっていますが、退職してまで拘束されるのはごめんだと考えてしまう方もおられるように思います。会を解散せざるを得なかった潟上・南秋の皆さんの無念を思うとき、我々は何を思い、何をなすべきなのでしょう。潟上・南秋の会長は、最後の会報に解散の因を役員のなり手がいないからだとはっきり述べています。われわれは、このことを「対岸の火事」とはせず、「他山の石」以て玉を攻むべしにしようではありませんか。

校長職を務めあげて、退職校長会に入会した時、教育振興の役に立ちたい、親睦を深め自身の生活に潤いを持たせたいなどと感じるものがあつたと思います。しかしながら、会員として何らかの貢献や生活の潤いを求めているも、役員となり、指導的な役割を果たそうとする会員は少ないのが現実です。でも、その役割を果たす人がいなければ会として成立しないわけです。現在、秋田市は幸いにも役員を引き受けてくださる方がおり、ボランティアとして頑張ってくださいっております。公私ともに多忙を極めていらっしゃるにもかかわらず、会のために活躍くださっておりますので、全く頭が下がります。感謝申し上げます。

我々退職校長会は、昨年度と同様に総会は実施せず、理事会の議決をもって総会に代えました。おかげさまで無事理事会を終え、令和3年度の事業を始められました。

変則的な事態が一日も早く収束し、皆様と自由に交流・交換ができますようにと願っております。

令和三年度総会について

今年度は、コロナ禍のため総会を中止し、代わって理事会で議案審議を実施し、承認をいただき、活動をスタートしました。

令和二年度 会務報告

月 日	事 項
四・四	第一回幹事会 (新年度組織分掌等)
四・十一	第二回幹事会 (総会資料検討等)
四・十六	会計監査
四・二五	理事会 総会 (中止) ※理事による書面決議となる
五・二三	第三回幹事会 (中止)
七・二七	会報「掬水」第四十四号、 「楽しい研修」案内 発送
八・二二	第四回幹事会 (活動内容の再検討等)
九・二六	第五回幹事会 (会報の内容検討等)
一一・一四	第二十七回現職・退職校長会 教育懇談会 (次年度に延期)
一・一六	第六回幹事会 (入会案内方法の検討等)
一・二九	現職校長会へ入会案内

二・二七 第七回幹事会
(次年度の組織・活動の検討等)

三・二七 会報「掬水」第四十五号 発送

※令和二年度に予定していた「楽しい研修」は、コロナ禍のため中止となりました。

令和三年度 事業計画

- 一 秋田市退職校長会幹事会 年六回
- 二 秋田市退職校長会会計監査
四月十五日(木)
- 三 秋田市退職校長会理事会・総会
四月二十五日(土)
※新型コロナウイルス感染症拡大のため
総会を中止し、理事会のみ実施
- 四 会報「掬水」第四十六号 発送
七月三十一日(土)
- 五 「楽しい研修」①～④ 九月～二月
現職・退職校長会教育懇談会
十一月十三日(土) ※延期
- 六 ※新型コロナウイルス感染状況、ワク
チン接種状況、学校現場の状況等を
考慮し、次年度に延期
- 七 現職校長会への入会案内
一月三十一日(月)
- 八 会報「掬水」第四十七号 発送
三月二十六日(土)
- 九 叙位叙勲 随時
- 十 慶弔 随時

令和三年度 秋田市退職校長会役員

顧問	佐藤 重義	千葉 昭
会長	高橋 一郎	
副会長	伊藤 栄二	高田 均
監事	佐川 眞理	鶴田 悦子
理事	濱田 眞	羽川 誠
	斉藤 孝雄	村上 義孝
	松田 行正	高橋ゆり子
県代議員 (市選出)	松田 行正	濱田 眞
	斉藤 孝雄	林崎 勝
	鎌田 寿和	羽川 誠
幹事長	加賀美俊一	
幹事	大山 重幸	阿部 英子
	刈田 茂	大淵 正俊
	鈴木 巧	角田 昭
	今田 智範	

祝 叙 勲

瑞宝双光章 教育功労

佐々田 亨 三 由利本莊市亀田

(敬称略)

交流のとびら



石山 輝夫

ひよんなことから・・・

腰の痛みが続き投薬治療を受けているが、回復が思わしくないのでから介護事業所でのリハビリを勧められた。

事業所では器具による運動が主である。器具を自分だけで操作できるように、他の利用者を手伝ったことから、職員に「一緒に仕事をしませんか」と誘われ、週三日のボランティアを始めた。

利用者の平均年齢は八三歳、九十歳を超える人もいる。手伝いの合間には話しが盛り上がる。元教師からは師範学校から新制秋田大学に変わった時の学生時代の様子を、満州や旧ソ連で子ども時代を過ごした人からは戦時中の様子を、多くの利用者からは昔の秋田の街並みや子ども時代の暮らしぶりの話を聞く。人生の先達の話は私の心を揺さぶり、感銘を受けている。自分のリハビリを兼ねながら充実した日々を過ごしている。

(平成二十二年三月退職)



石川 勲

ふるさとにはありがたきかな

J Aの正組合員である。所属は「白神ねぎ」で有名な「JAあきた白神」。「白神森林組合」の組合員でもある。

私の家があるのは、松山納豆や北限のお茶で知られる能代市松山で、歴史的建造物が多

く、落ちついた風情のある旧城下町である。

現在、田畑の管理は農事組合法人に依頼しているが、畑の一部を使用してジャガイモ、ダイコン、ミョウガを収穫している。時季になればワラビ、ミョウサク、ミズなどの山菜も採れる。

平日は通常通り勤務し、週末に松山でエネルギーを蓄えて、また秋田での生活に戻る。半世紀にわたる私の生活パターンである。退職後も通常勤務のため、この生活は今も続いている。

「ふるさとにはありがたきかな」である。

(平成二十三年三月退職)

新入会員の紹介

(令和三年三月退職)



齋藤 透

お世話になります！

昨年度は、新型コロナウイルスへの対応に翻弄された一年となり、自らの教職生活をゆつくり振り返る余裕もないまま退職してしまつたような気がします。あれからもう三か月。早いものです。

ありがたいことに、四月からは秋田公立美術大学にお世話になっております。先輩の先生方から教わることや、美術の教員免許の取得を目指す個性的な学生との出会いは、とても興味深く、新たなことに立ち向かうエネルギーにもなっています。会員の皆様には、これからお世話になります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



越中谷 俊悦

「宜しく願ひいたします」

現職当時も、先輩の皆様には大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

四月からは、秋田大学(非常勤)でお世話になっております。大学生や大学院生の教育実習等のお手伝いや時々の講義などが主な仕事内容です。

令和三年度がスタートして二か月が過ぎましたが、新型コロナウイルスの影響がまだまだ大きく、長く続いています。秋田大学では、コロナ禍での教育実習について、安全対策に万全を期すよう今後も様々な観点の方策に力を注ぐこととしています。



千葉 学

近況

新型コロナウイルス対応に明け暮れ、慌ただしいままに定年を迎えてしまったことが少し残念ではありましたが、皆様のお仲間に加えていただけることを大変嬉しく思っております。

さて、私はこの四月から秋田市教育研究所に勤務し、研修や教育相談のお手伝いをしております。週四日の勤務で平日に休みが一日ある生活に、なんとなく後ろめたさを感じてなかなか馴染むことができませんでしたが、最近ようやく違和感なく過ごすことができるようになりました。せっかくできたゆとりの時間ですので、何か自分磨きに使いたいものだと感じている今日この頃です。



結局、子どもたちとともに
佐川 喜一

母や妻と野菜や花を育てたり、自分なりのお家時間を考えようとしていたりしていた。庭に除草剤をまいていたりとき、依頼の連絡が入った。病休代替の臨時講師をお願いしたいとのことだった。

管理職等が永かったので、久しぶりの担任として、再び教育現場で働くこととなった。四年生との学級生活は、非常に充実したものであり、時折思い出が懐かしくよみがえる。本来の担任の回復を願いながら、子どもをはじめ、他の教職員へ迷惑をかけることを最小限にしようと心がけている。



菊池 晋

今年度からお世話になります。どうかよろしく願います。

四月からは家事に専念しております。掃除、洗濯、買い物、食事作りに町内会の役割と、なかなか忙しい毎日を送っております。コロナの影響はまだまだ続くようでもあり、自分の間は、①積極的に家事仕事に取り組み、散歩を含めて、平日一万歩、月間二十万歩を目指す。②土日は、趣味と実益を兼ねて、魚釣りに行く。③地域社会の一員としての自覚ある生き方に努める。以上の三つを心得として日々を送りたいと思っております。



三浦 真澄

この三月で、仁井田小学校を最後に定年退職となりました。在職中は多くの先生方から声をかけていただき、また助けていただいたおかげで無事に教員生活を終えることができました。ありがとうございます。

現在は、県総合教育センターに勤務していますが、各種講座が毎日のように行われ、全県の先生方の研修の拠点となっていることを改めて感じる事ができます。恥ずかしながら私も講座の一部を担当することになりました。デスクワークがほとんどなので、昼休みはセンター周辺を散歩しています。



加賀谷 政広

この四月から会計年度任用職員として、秋田県総合教育センターでスクールソーシャルワーカーとして働いております。

さて、私は学校という教育の場面を通して中学生の心と体を育てたいと志し教職を選びました。採用当時、全国的に中学校はとても賑やかな職場でした。もちろん力不足の若僧であったこともあり、思い描いていた理想の教師像にはほど遠いものでした。あの時から三十余年も経ちましたがまだまだ未熟者。先輩の皆様方から色々なお話を頂戴しながら、一人前になれるラストチャンスと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○「楽しい研修会・同好会」への案内

会員相互の親睦を図るために、次の研修会を開催します。併せて、同好会員の募集も行います。関心のあるもの、この機会にやってみようかなと思うもの・・・など、お一人何回でも（いくつの同好会でも）参加できますので、ぜひ、ご参加ください。

お申し込みは、別添「楽しい研修会・同好会へのお誘い」に記載されています。各研修会・同好会の「申込先」に電話やSメール等でお申し込みください。その後、詳細を各担当からご案内いたします。たくさんのご参加をお待ちしております。（なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては開催が中止になることがあります。）

【楽しい研修会】

- ① 陶芸 工房見学と陶芸体験（初心者大歓迎）
- ② アトリオンコンサート 内容、期日は未定
- ③ 秋田の名酒を飲み比べ
- ④ 企画展示、コンサートほか（主催：赤レンガ郷土館）

【楽しい同好会・・・】は世話人

- ① 写真同好会（刈田 茂）
- ② グラウンド・ゴルフ同好会（上村 敦）
- ③ 酒蔵応援同好会（大山 重幸）
- ④ 音楽鑑賞同好会（羽川 誠）

※他の同好会を立ち上げたいとお考えの方は、研修担当鈴木巧までご連絡ください。（連絡先は別添に記載してあります）